
狼につき、嫉妬

きまぐれ屋

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

狼につき、嫉妬

【Nコード】

N2187D

【作者名】

きまぐれ屋

【あらすじ】

久しぶりに会う愛しい彼。だけど、何故か不機嫌。嫉妬なんて、あたしだけが感じる感情でしょう？

（前書き）

狼につき、危険。の続編です。そっちの後は是非お読み下さい。

「ど、したんですか・・・」

久しぶりに足を踏み入れたボロアパート
あたしはいつもと変わらない部屋の状況に、軽くため息を吐いていた。

しかしいつものデスクにはせんせいはいなくて。彼は部屋の隅でいじけていたのだ

「・・・なんのつもりですか？」
―惚れた弱みなのか。

自分の言葉にいつもの覇気が感じられなくて、情けない。

・・・もうっ！

「せんせいっ！？いーかげんにー・・・」

肩を引き寄せて、一週間ぶりの愛しい人の顔を覗き込んだあたしは、思わず目を見開いた。

キスをするときに髭がくすぐったいと言ったけど・・・まさか剃るとは・・・

幼くなつたその顔は、元々整つたせんせいをより際立たせていた。

「せんせ、それ・・・」

あたしはにやける頬を抑えてせんせいに手を伸ばした。

外見にまったくと言って言い程興味の無い彼だ。その人が、こうしてあたしの一言で変わってくれてる。

外見がどうよりも、あたしの存在価値があるようで、何か嬉しい

すっかり頬が緩んだあたしの手のひらを、パシッと愛しい彼の手が振り払った。

「なんで俺が怒ってんのか、まづ自分の胸に聞いてみる。」

「・・・せんせ、い？」

彼が、何に対して怒っているのか。
原因はあたししか考えつかなくて

けど、自分が何をして怒らせたのかは、分からない

ぷいっと背を向けて、再び押し黙ったせんせいの姿が、まるで別人のようだ。

今は、全身であたしを拒絶しているように思える。

いつもの大きい背中からは何も感じられなくて、拒絶されたどうしようもない不安と孤独感が押し寄せてきた。

払われた行き場の無い手が、悲しみに小刻みに震えだして、悲しみを打ち消すようにぎゅっと握りしめた。

どうしようも無い汚いこの感情も、一緒に握りつぶせばいいのに。なんて思ってしまう。

「……っ」

「……で、え、わっ?! 中村?!」

反応の無いあたしを見るのに振り返ったのだろう。せんせいはあたふたと、あたしの目から溢れる滴を掬った。

「なんで、怒ってるのよ
一週間ぶりに会えたのに・・・」

「うっ、ふえ・・・」
情けない声で嗚咽を出し始めたあたしに、せんせいが困ったように口を開いた。

「~~~~一週間も顔出さない上に、お前が別の新人作家の編集も受けたりするからだろう！」

「・・・ふえ」

あたしが言葉に出来なかった質問に答えたせんせいは、微かに赤く染まった顔を覆った。

確かに、新人の男の人の編集も受け持った。

仕事が倍忙しくなったあたしは、せんせいにも会えなかったのだ。

「・・・やきもち・・・？」

あたしだけ、じゃなかったの

「・・・うつせえ、今日はぜってえ帰さねえからな」

首筋に落ちた確かな熱は、赤い花を咲かせて

冷たくてごつごつした細い指が、背中を撫でてホックを器用に外した。

「ーっひゃ」

「やめろって言われても、やめねえから」

抵抗しても、逆に燃えるけどね

いじわるな囁きを耳に残しつつ、冷たい床は徐々に熱を帯びていった。

.

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2187d/>

狼につき、嫉妬

2010年11月30日03時47分発行